

チーム新・湯治♨

新・湯治コンテンツモデル調査

公 募 要 領

令和8年5月

環 境 省

(業務委託先 株式会社オーエムシー)

目次

1. 新・湯治コンテンツモデル調査の概要	1
1-1. モデル調査の目的	1
1-2. 調査事業内容	2
(1) 調査事業の流れ	2
(2) 募集内容	2
(3) 調査応募資格	5
(4) 採択するモデル調査数	5
(5) モデル調査への支援及び実施に係る経費について	6
2. 申請方法及びモデル調査の選定について	7
2-1. 申請方法	7
(1) 申請にかかる書類	7
(2) 募集期間	7
(3) 応募書類の提出先・問い合わせ先	7
2-2. モデル実証温泉地の選定方法	8
(1) 選定方法	8
(2) 選定後の留意点	8

1. 新・湯治コンテンツモデル調査の概要

1-1. モデル調査の目的

自然等の地域資源を活かした温泉地の活性化に向けた提言を踏まえ、環境省では温泉地活性化のために「新・湯治」を推進しています。多くの人が温泉地で地域資源を楽しみ、潜在を通じて心身をリフレッシュさせる。そして、温泉地に多くの人が訪れることで、温泉地のにぎわいを生み出していく。このような「新・湯治」の目指す温泉地の姿を実現するためには、多様な関係者の連携が必要不可欠です。

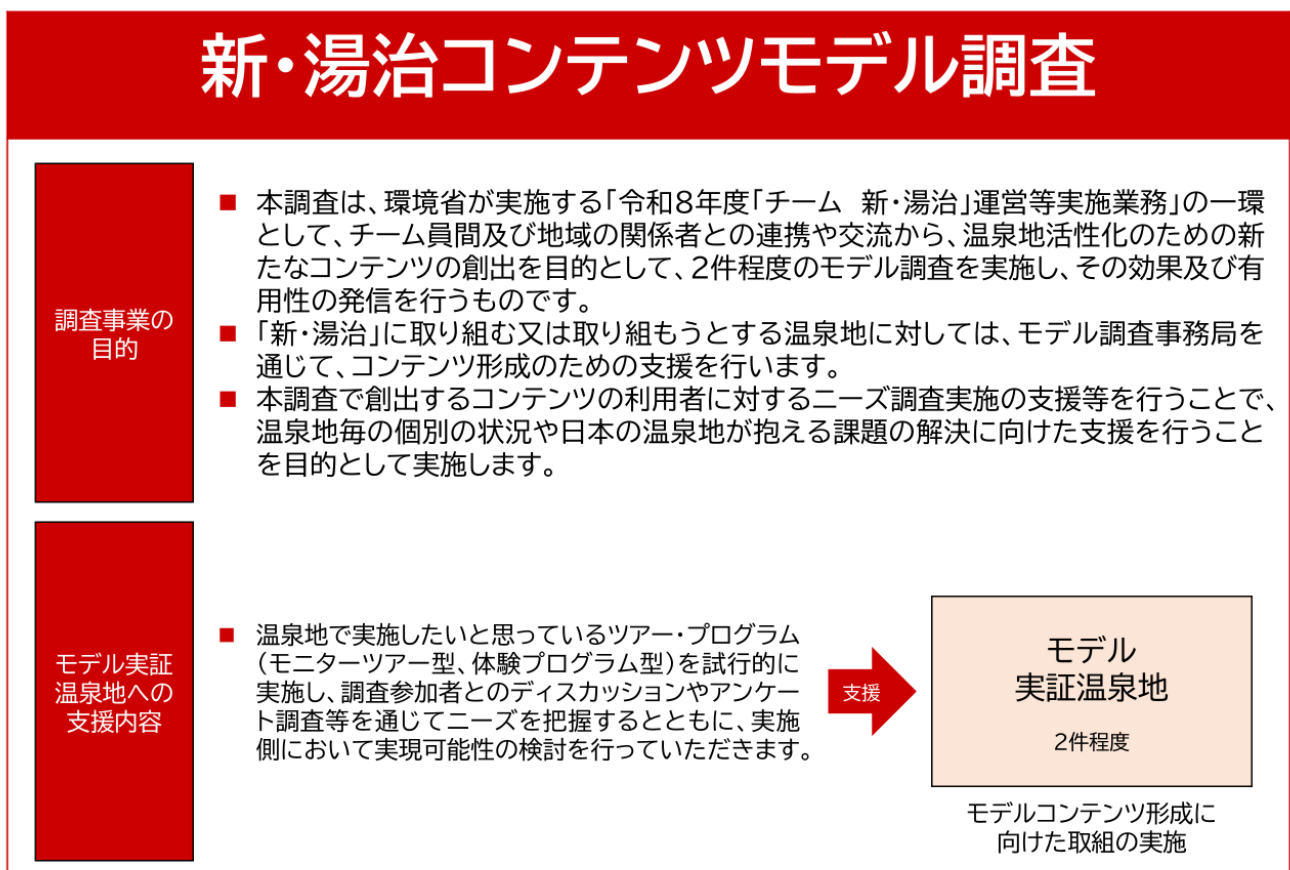
「チーム 新・湯治」は、温泉地を中心とした自治体、団体、企業等による多様なネットワークづくりを目指した取組です。本ネットワークを通じて、温泉地において多種多様な連携が生まれ、これまでになかった新しい取組が展開されることが期待されています。

本調査は、環境省が実施する「令和8年度「チーム 新・湯治」運営等実施業務」の一環として、チーム員間及び地域の関係者との連携や交流から、温泉地活性化のための新たなコンテンツの創出を目的として、2件程度のモデル調査を実施し、その効果及び有用性の発信を行うものです。

「新・湯治」に取り組む又は取組もうとする温泉地に対しては、事務局を通じて、コンテンツ形成のための支援を行います。本調査で創出するコンテンツの利用者に対するニーズ調査実施の支援等を行うことで、温泉地毎の個別の状況や日本の温泉地が抱える課題の解決に向けた支援を行うことを目的として実施します（図表1）。**なお、本事業は補助金ではありません。**

なお、本調査事業の実施にあたっては、株式会社オーエムシーが、環境省から委託を受けて新・湯治コンテンツモデル調査事務局（以下、モデル調査事務局）業務を担当します。

図表1 本モデル調査事業の目的と支援内容



1-2. 調査事業内容

(1) 調査事業の流れ

想定する事業の流れは、下記の通りです（詳細は、図表2を参照）。

図表2 本事業の流れ

実施スケジュール	内容
令和8年5月18日～6月26日	モデル調査の募集
令和8年7月中旬	モデル調査の選定
採択後～令和9年1月	申請書及び実施計画書に基づく取組・調査の実施
令和9年2月	実施報告・共有化

①モデル調査の募集・選定

- ・申請書（別添様式1）および実施計画書（別添様式2）を作成し、提出いただきます。
- ・提出された実施計画書の内容を環境省とモデル調査事務局にて審査し、必要に応じ外部有識者の意見を聴取し、モデル調査を選定します。

②実施計画に基づく取組実施

- ・選定された各モデル調査実施者において、作成した実施計画書の内容に基づき調査を実施します。
- ・想定するモデル調査事務局とモデル調査実施者の役割分担は、図表3の通りです。

③実施報告・共有化

- ・調査の実施終了後、実施報告書を提出いただきます。報告書で整理いただきたい項目については、採択後にモデル調査事務局より連絡します。
- ・本調査で取り組んだ事業内容については、全国の温泉地、「チーム新・湯治」チーム員に対して報告し、成果を共有することを想定しています（必要に応じ匿名化します）。

(2) 募集内容

温泉地で実施したいと考える新・湯治のコンセプトである地域の自然や歴史・文化・食など地域資源を活用した滞在の魅力づくりや地域課題の解決につながるコンテンツをモデル的に実証し、利用者目線からの課題、改良点やニーズ等を把握するための調査を募集します。本調査は温泉地側及び温泉地外（温泉地外の企業など）のどちらの視点からでも応募可能です。

①調査のテーマ

- ・新・湯治コンテンツモデル調査は「温泉地」と「地域資源」とのコラボレーションや「地域課題」の解決に関わる主体間の新しい「連携」がテーマです。
- ・具体的な連携内容を、該当の温泉地の特徴や強み、獲得したい客層、市場に認知されたいテーマなどを踏まえ、「温泉地×○○」の形式で申請者において設定してください。
- ・「○○」の設定にあたっては温泉地と連携する新たな主体間でどのような取組を行うことによりどのような連携が生まれることが期待されるかについて具体的に申請書に記載してください。
- ・文字数、ひらがな・カタカナ・漢字等の制限は特にはありません。また、内容を表現するにあたり、必要に応じて「温泉地×○○×○○」と表現しても構いませんが、「○○」は2つまでとしてください。テーマは「分野」、「対象者」など調査内容を端的に表現するものとしてください。
- ・モデル事業として実施するため、他の温泉地での展開可能性も考慮してください。

(募集テーマの例)

例) 温泉地×自然環境	温泉地×温泉地(地域連携)
温泉地×インバウンド	温泉地×伝統(芸能・文化など)
温泉地×ユニバーサルツーリズム	温泉地×3日間滞在
温泉地×健康食×美容	温泉地×食の多様性
温泉地×スポーツ	温泉地×定住促進
	など

※上記はあくまで例です。新・湯治のコンセプトに沿った新たなコンテンツとして相応しいテーマの設定を期待しています。

(参考) これまでの新・湯治コンテンツモデル調査の採択テーマ(17件)

○温泉地×温熱×リラックス	[湯村温泉]
実施者: 新温泉町	
○温泉地×身近なマイノリティ	[東鳴子温泉]
実施者: 鳴子ワカモノ湯治	
○温泉地×Business Woman&オープンイノベーション	[伊豆修善寺温泉]
実施者: 株式会社ベーシック	
○温泉地×転地療法×地域食材	[関金温泉]
実施者: 関金温泉振興組合	
○温泉地×ワーケーション×リフレッシュチャージ	[松之山温泉]
実施者: 松之山温泉合同会社まんま	
○温泉地×ワーケーション入門×人と自然の共生	[土湯温泉]
実施者: NPO法人土湯温泉観光協会	
○温泉地×東洋医学(中医学)×美肌	[法師温泉]
実施者: 株式会社温泉ビューティー研究所	
○温泉地×学生×居場所づくり	[東鳴子温泉]
実施者: 鳴子ワカモノ湯治	
○温泉地×学知	[湯野温泉]
実施者: 温泉地研究会	
○温泉地×日本遺産×外国人	[三朝温泉]
実施者: 三朝町観光交流課	
○温泉地×テロワール×リフレッシュ	[松之山温泉]
実施者: 株式会社千歳館	
○温泉地×テントサウナ	[湯野温泉]
実施者: 温泉知研究会	
○温泉地×外国人×公衆浴場の入り方	[三朝温泉]
実施者: 三朝町	
○温泉地×企業版「ウェルネスツーリズム」	[皆生温泉]
実施者: 株式会社めぐみ	
○温泉地×温泉掘削の地層×大学生	[犬吠埼温泉]
実施者: 犬吠埼温泉協議会	
○温泉地×公共交通×学生	[東鳴子温泉]
実施者: 東鳴子温泉ひとにやさしい温泉地プロジェクト	
○温泉地×大学生メンタルヘルス支援	[中川温泉]
実施者: 一般社団法人マイノリティ研究所	

温泉地×身近なマイノリティ [東鳴子温泉] 実施者：鳴子ワカモノ湯治*2



*2鳴子ワカモノ湯治は、東大温泉サークルOKRが実施する複数あるプロジェクト(チーム)の一つ。

- 東鳴子温泉(宮城県)では、11軒ある温泉旅館のうち6軒で宿泊者は無料で入れる家族風呂や浴場の貸切制度があります。
- 他の温泉地にはないこの特色を活かして、温泉に“入りづらさ”を感じている身近なマイノリティ(性的マイノリティ、乳がん手術経験者等)の方が、日々の行きづらさを忘れて心身の休養・保養ができる環境づくりを「ひとにやさしい温泉地プロジェクト」として進めています。
- 地元温泉地のほか、性的マイノリティの当事者と支援者の団体「東京大学TOPIA」の協力を得ています。性的マイノリティの温泉利用に関する調査では、周囲の視線などから、日頃多くの方が温泉の利用にあたって課題を抱えているという結果が得られ、乳がんの患者コミュニティからも、温泉旅行を諦めていた人も多いという話を伺いました。
- 「湯治ウィーク」(9月23-29日)中に、6軒の旅館の宿泊者に対して貸切風呂の感想やプロジェクトへの意見をアンケート調査した結果、一般宿泊者42名から回答を得て、多くの方からプロジェクトに対する賛同、理解を得ました。一方でマイノリティ当事者の方への調査は難しく、別途モニター調査を実施しています。
- 実際に現地を来訪した当事者の方々はコンセプトに賛同する一方で、案内を充実させてほしいなどの意見が聞かれました。

(チーム新・湯治 NEWS LETTER No. 5より)

温泉地×外国人×公衆浴場の入り方 実施者：三朝町

- ☞ 訪日1年未満の外国人留学生13名を対象に、温泉の入浴マナーや温泉文化の理解促進と連泊につなげる観光体験を検証した。
- ☞ 参加者は温泉文化や三朝温泉の歴史への関心が高く、高評価を得ることが出来たが、脱衣場や浴室内、浴衣、履物などのマナーが難解で、パンフレットだけでは理解できないなどといった声もあった。
- ☞ 今後は、地域全体で統一したマナーの整理や多言語発信を強化するなどのマナー普及や、地域の特色を生かした観光コンテンツを造成し、連泊を促進していく。

(チーム新・湯治 NEWS LETTER No. 28より)

温泉地×大学生メンタルヘルス支援 実施者：一般社団法人マイノリティ研究所

- ☞ 大学生に対する予防的メンタルヘルス支援を目的とした温泉地を活用した予防的介入モデルの実証のため、学生向け「新・湯治」プログラムを実施した。
- ☞ 不安・抑うつ・心理的柔軟性・生活満足度・睡眠の質について、事前・中間・事後・1か月後フォローアップ調査と、インタビュー、KH Coderによるテキストマイニングを組み合わせ、効果測定を行った結果、不安・抑うつの有意味な低減と、心理的柔軟性・生活満足度・睡眠の質の有意味な向上が確認され、1か月後フォローアップ調査でも全尺度で効果が持続し、行動変容の定着と地域への継続的関与意向も確認された。
- ☞ 質的分析により、「①身体的弛緩→心理的安全→関係性形成」「②一人時間→内省深化→行動化」「③感覚共有→世代間交流→アイデンティティ再定位」の3つの変容経路が特定され、温泉環境×一人時間×グループ設計(3~4名)の3要因が連動し、学生の不安・孤立感を軽減し、自己理解と心理的安定を促進することが示された。
- ☞ 本調査により、「新・湯治」プログラムが大学生の予防的メンタルヘルス支援として有効であることが実証され、「地域資源」×「温泉」×「場の設計」の組み合わせにより、地域特性に依存しない全国展開可能な標準モデルの基盤が示された。

(チーム新・湯治 NEWS LETTER No. 32より)

②モデル調査の類型

モデル調査の公募区分は、大きく2つです。原則としていずれかを選択してください。

A. モニターツアー型

*都市部の企業や一般消費者、インバウンド等に向けて、旅行期間中の過ごし方等を提案、実施します。

B. 体験プログラム型

*現地で滞在している方、現地を訪問する方に対して、数時間～半日程度のプログラムを提案、実施します。

③支援内容の例

温泉地で実施したいと思っているツアー・プログラム（A. モニターツアー型、B. 体験プログラム型）を試行的に実施し、参加者とのディスカッションやアンケート調査等を通じてニーズを把握すると共に、実施側において実現可能性の検討を行っていただきます。

④本調査で環境省が負担する経費

本調査で環境省が負担する経費は、次の2つです。

●調査参加者への協力謝金

A. モニターツアー型

ニーズ把握調査に対する協力謝金（18,000 円/人、各調査最大 15 名）

B. 体験プログラム型

アンケート等への回答など、ニーズ把握調査に対する協力謝金（2,000 円/人、各調査最大30 名。ただし、一人あたりの回答内容が 400 文字程度ものとする。）

なお、調査参加者への謝金の支払いは、同額のデジタルギフトとする場合があります。

(3) 調査応募資格

- ・本事業に申請できる者は「チーム新・湯治」のチーム員に申請日までに登録されている団体です。なお、個人による申請は対象外とさせていただきます。

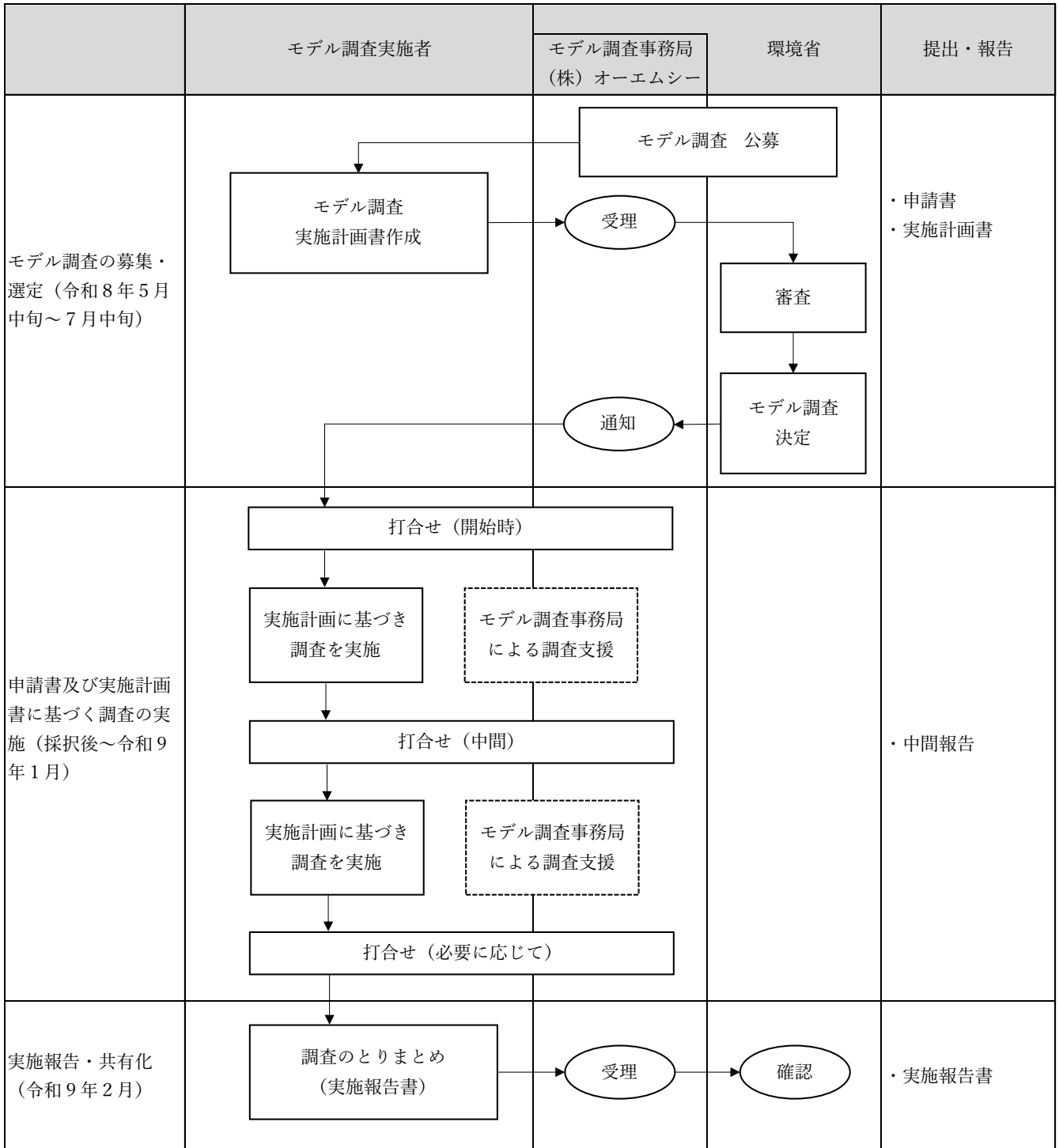
(4) 採択するモデル調査数

- ・合計で2件程度の選定、採択を予定しています。
- ・1チーム員から複数の案件の応募は可能ですが、採択は、原則として1チーム員あたり1件とします。

(5) モデル調査への支援及び実施に係る経費について

- ・モデル調査事務局を経由して環境省が負担する経費は 1-2(2)④のとおりです。
- ・モデル調査事務局の人件費及び現地往訪にかかる旅費等、事務局が負担します。
- ・それ以外の費用については、原則モデル調査実施者で負担となりますが、各モデル調査実施者の準備状況に応じ、協議の上決定します。

図表 3 調査の流れと役割分担



2. 申請方法及びモデル調査の選定について

2-1. 申請方法

(1) 申請にかかる書類

- ・応募書類（申請書および実施計画書）の様式は、モデル調査事務局のホームページからダウンロードできます。

<https://www.omc.co.jp/shintoji/contentsmodel/index.html>

- ・必要事項を記入し、応募期間内にモデル調査事務局（下記）まで提出してください。
- ・計画書に詳細を記載するよりも添付資料を参照した方がわかりやすい事項については、提案書中に「△については、別添資料○参照」と記載して、資料添付を行うことも可能です。ただし、添付資料が大部にわたる場合は、必ずその要点を提案書中に記載すること。また、計画書記載事項との関係が容易に分かり難い添付資料は、添付されなかったとみなすことがあります。

(2) 募集期間

- ・令和8年5月18日（月）～6月26日（金）12:00 必着

(3) 応募書類の提出先・問い合わせ先

- ・応募書類の提出は、下記事務局まで原則メールにてお願いいたします。

【提出先・問い合わせ先】

「新・湯治」コンテンツモデル調査事務局
株式会社オーエムシー 「チーム新・湯治」運営事務局（内野）
（令和8年度「チーム 新・湯治」運営等実施業務受託事業者）
〒140-0002 東京都品川区東品川4-12-1 品川シーサイドサウスタワー12階
TEL：03-6810-1072 FAX：03-6810-1074 E-mail：shintoji@omc.co.jp

2-2. モデル実証温泉地の選定方法

(1) 選定方法

- ・下記の基準に基づき、総合的に審査し選定します。なお、選定に当たっては、必要に応じて事務局よりヒアリングを行う場合があります。

(選定基準)

- ・応募資格を満たしていること
- ・モデル調査として応募目的が明確であること
- ・モデル調査の内容が実現可能なものであること
- ・モデル調査の成果が他の温泉地及びチーム員にとって参考になる取組であること
- ・モデル調査を確実に実施できる体制・スケジュールであること

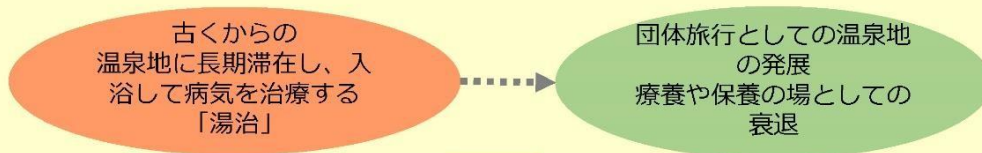
(2) 選定後の留意点

- ・調査実施期間中に、調査実施者と発注者等による打合せを2～3回開催させていただきます（開始時、中間、事業終了時（必要に応じて））。
- ・各モデル実証温泉地の調査の進捗状況を確認するとともに、取組期間の過半を過ぎた時期（10 月前後を想定）に、中間報告をいただきます（報告の方法は別途連絡）。
- ・取組実施後に、実施報告書（様式は別途提供）を提出していただきます。

(実施報告書の内容案)

- ・実施した取組の内容
 - ・調査によって得られた成果
 - ・今後の課題 等
- ・上記以外にも、取組状況については各種セミナーなどの機会に適宜報告をお願いすることがあります。

温泉 .. 国民共有の資源であり、温泉地の核となり、将来世代へ引き継ぐもの
日本は温泉や温泉地が持つチカラを十分に活用していないのではないか



- ストレス社会、高齢化社会であり、ワークライフバランスが求められる現代において、社会全体として、リフレッシュや健康長寿のための場づくり、仕組みづくりが重要
- 官民一体となって地方創生、観光立国（インバウンド対策）を推進

新・湯治とは

エビデンスも重視！

温泉地の役割を見直し、「新・湯治」を提案

- 温泉入浴に加えて、周辺の自然、歴史・文化、食などを活かした多様なプログラムを楽しみ、地域の人や他の訪問者とふれあい、心身ともに元気になること
- 年代、国籍を問わず楽しめる
- 長期滞在を行うことが効果的

新・湯治推進プラン .. 「新・湯治」を提供する場としての新しい温泉地のあり方、環境省や関係機関に求めることをまとめたもの

楽しく、元気になるプログラムの提供

- 泉質、地域資源を活かしたプログラムの提供
- 多様な温泉地間の連携による情報発信等
- 年代、国籍を問わず、長期滞在しやすい宿泊プランづくり

温泉地の環境づくり

- 外湯めぐりの充実といった「にぎわいの創出」
- 周辺の自然環境等の地域資源を一体的に評価し、持続的な利用
- 温泉地を拠点とした広域周遊、国立公園満喫プロジェクトとの連携

「新・湯治」の効果の把握と普及、全国展開

- 温泉地全体の療養効果等を科学的に把握し、その結果の情報発信
- 統一フォーマットの提示により、全国的なデータの蓄積、評価、公開
- ストレス社会、健康長寿社会における重要性を踏まえた準備

推進体制の構築等

- 地域会社設立や観光組織（DMO等）の活用による体制づくり、財源確保
- 地域外の民間企業等との連携
- 関係省庁の連携

国民保養温泉地が中核的・先進的な役割

環境省 御中

(業務委託先 株式会社オーエムシー)

新・湯治コンテンツモデル調査 申請書

モデル調査	テーマ	温泉地 × (食の多様性)
	実証温泉地名 (所在地) <small>※未定の場合は 「未定」と記入</small>	未定 (例1) b (例2) 温泉 (b県 (例2) 都道府県)
申請者	チーム員名	例1 : 株式会社A 例2 : B温泉観光組合
	代表者役職・氏名	〇〇 〇〇 代表者印
	所在地	〒XXX-XXXX 〇〇県〇〇町X-XX-XX
連絡担当者	氏名 (ふりがな)	△△ △△
	所属 (部署名)	〇〇課
	役職	〇〇担当
	電話番号 (代表・直通)	XXXX-XX-XXXX
	FAX番号	XXXX-XX-XXXX
	E-mail	XX@XX.XX.jp

※団体概要 (パンフレット等) を添付すること。

新・湯治コンテンツモデル調査 実施計画書

1. 新・湯治コンテンツモデル調査の提案内容

テーマ	温泉地 × (食の多様性)
実証温泉地名 (所在地) ※未定の場合は 「未定」と記入	未定(例1) b(例2) 温泉(b県(例2) 都道府県)
調査の種類 (いずれか 一つ)	<input checked="" type="checkbox"/> A. モニターツアー型 (例1) <input type="checkbox"/> B. 体験プログラム型 (例2)
実証するコンテンツの概要	<p style="text-align: center;">【温泉地での新・湯治コンテンツモデル調査の概要】</p> <p>※温泉地における背景や課題・ニーズに対し、本調査を実施した場合の成果をイメージして、どのようなことを実施したいか記載下さい。</p> <p>※「新・湯治」との関連も意識して記入してください。</p> <p>(例1) モニターツアー型 近年は、病気に起因する制限や、アレルギーなどに加え、宗教上の理由やライフスタイルなどに基づく食習慣・食文化の違いなど、食の多様性が広がっています。温泉地を訪問する方々に対して、例えばハラルに対応した食事やお土産を提供することができれば、安心して温泉地を長い時間楽しむことができます。そのため、例えば、ハラルに対応した食材・調理方法による飲食店のメニュー試行や、地域の食文化・郷土料理（ローカルフード）を活用した食事やお土産を考案するなど、温泉地全体での受け入れ体制を検証する必要があります。食の多様性に対応した温泉地を目指し、地域の宿泊施設、入浴施設、飲食店、土産物、食材関係者など多くの関係者と新たなつながり、賑わいを創出します。</p> <p>(例2) 体験プログラム型 近年は、病気に起因する制限や、アレルギーなどに加え、宗教上の理由やライフスタイルなどに基づく食習慣・食文化の違いがあるなど、食の多様性が広がっています。地域に根付いた食材、伝統的な郷土料理（ローカルフード）を、例えば、ハラルに対応した食材・調理方法で試作・体験するプログラムを実証し、体験者の声を元に、プログラムの改良及び今後の温泉地のPRを行うことで、食の多様性に対応した温泉地を目指します。</p>

※A4版、一枚程度とする。

【ツアー/プログラムの詳細】	
実証するコンテンツの概要	<p>※温泉地活性化のための新たなコンテンツとして、どのようなツアー/プログラムを行い、どのようなことを把握・検証するのか、その把握・検証をどのような手順で行うのか、具体的に記入してください。</p> <p>※「新・湯治」との関連も意識して記入してください。</p> <p>（例1）モニターツアー型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在日・訪日するムスリムの方15名程度の参加を募り、温泉地での1泊2日の滞在期間中、温泉入浴に関する課題などについて意見交換するとともに、温泉地の飲食店や土産物が考案したハラール対応メニューや地域の食文化・郷土料理（ローカルフード）を体験してもらう予定です。 ・参加者にはアンケートに回答してもらい、温泉地での入浴方法等における課題やハラール対応したメニュー等に関する課題を中心に報告してもらいます。 <p>（例2）体験プログラム型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当温泉地で滞在中、以下の中から2つの体験プログラムを選択して参加いただき、400字程度のアンケートに回答してもらい（プログラム参加費（●●円）は参加者負担を想定。先着15人程度。）。アンケート内容をもとにプログラムの改良を行い、体験者の声を当観光協会ホームページ等で発信を行い、食の多様性に対応した温泉地のPRに役立てます。 －入浴指導員による個別入浴体験 －地域に根付いた食材を活用した伝統的な郷土料理（ローカルフード）作り体験
広報・集客の具体的方法	<p>※ツアー/プログラムを実施するにあたって、どのような層をターゲットに集客するのか（想定する参加人数、対象者の属性なども含む）、集客方法も含め具体的に記入してください。</p> <p>（例1）モニターツアー型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在日・訪日するムスリムの方を年齢や性別を問わず、15名程度（3～5名程度のグループを複数）、募集します。募集にあたっては、一般社団法人 Dと連携します。 <p>（例2）体験プログラム型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在日・訪日するムスリムの方を年齢や性別を問わず、15名程度（3～5名程度のグループを複数）、当観光協会ホームページや SNS 等で発信し、体験プログラムの周知と参加者の募集を行います。また、募集にあたっては、一般社団法人 Dと連携します。
成果が他の温泉地で活用できるか、調査で得た成果の活用方法（構想でも可）	<p>※他の温泉地での展開可能性や調査後の成果の活用方法を具体的に記入してください。</p> <p>（例1）モニターツアー型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証効果が確認できたら、恒常的なハラール対応したメニューや地域の食文化・郷土料理（ローカルフード）の提供を検討します。温泉地の宿泊施設、入浴施設、飲食店、土産物、食材関係者など多くの関係者が新たなつながりが生まれるとともに、食の多様性に対応した温泉地として様々な地域から温泉地に訪れてもらうことにより、賑わいを創出します。 ・温泉地名（了解が得られた場合のみ）も含め、ホームページや SNS 等で紹介を予定しています。 <p>（例2）体験プログラム型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証で効果が確認できたら、プログラムの本格提供を検討します。プログラムを体験した来訪者には SNS 等に投稿してもらい、当地の魅力を発信していただくことを期待しています。 ・当組合ホームページを始め、地域の回覧板にも紹介し、遊歩道散策などは地元住民の健康維持にも活用を促します。また、体験者には SNS 等での発信を促します。

※A4版、一枚程度とする。

2. モデル調査の実施体制

申請者の活動状況	<p>【これまでの「新・湯治」に関わる活動状況】</p> <p>※申請するコンテンツモデル調査の内容に関して、これまでに関連する取組を行っている場合は、その点も記入してください。</p>
	<p>(例1) モニターツアー型</p> <p>当該温泉地では、複数の旅館やホテル、飲食店、土産物店などが存在し、温泉地活性化に向けた検討を行っている。</p> <p>(例2) 体験プログラム型</p> <p>「チーム新・湯治」発足当初から加入しています。また、加入前から、今後の温泉地の賑わい作りを旅館組合で話し合いを行っています。</p>
実施体制	<p>(例)</p>  <pre> graph TD A[XX温泉組合] --- B[一般社団法人 D] B --- C[XX宿泊施設] B --- D[XX飲食店] B --- E[XX土産物店] B --- F[XXXX] </pre>

※A4版、一枚程度とする。

3.実施スケジュール等

新・湯治コンテンツモデル調査 に関する取組		備考
※公募要領の図表3を参考に想定のスケジュールを記入してください。		
7～8月 ※月は適宜まとめることも可能	(例1) モニターツアー型 ・関係者会議 (協力宿主泊施設・飲食店等、募集方法調整) ・モデル調査事務局との打ち合わせ (開始時)	(例2) 体験プログラム型 ・関係者会議 (当組合、一般社団法人D、協力飲食店、入浴指導員) ・モデル調査事務局との打ち合わせ (開始時)
9月	・連携温泉地・モデル調査事務局との打ち合わせ (ツアー詳細 (場所、時期、宿泊等) の相談)	・プログラム別に担当者との打ち合わせ、詳細プラン (案) 決定 ・派遣外部有識者との打ち合わせ
10月	・関係者会議 (関係部署へのツアー内容の報告。) ・募集開始 (1カ月程度) ・モデル調査事務局との打ち合わせ (中間)	・プログラム実施開始 ・モデル調査事務局との打ち合わせ (中間)
11月	・連携温泉地とのメールベースでの打ち合わせ (随時)	・プログラム実施 (例: 15人) ・事務局への定期報告 (必要に応じ、プログラム内容のアドバイスを求める)
12月～ 1月	・実証者決定 (例: 15人) ・モデル調査事務局への定期報告 (必要に応じて打ち合わせを実施し、今後に向けたアドバイスを求める)	・(上旬) プログラム終了 ・組合によるレポート結果とりまとめ。今後の改良点 PR 検討。 ・モデル調査事務局への定期報告 (必要に応じて打ち合わせを実施し、今後に向けたアドバイスを求める)
2月	・実証者レポート提出 ・モデル調査事務局への実施報告書提出	・実証結果打ち合わせ ・モデル調査事務局への実施報告書提出

※開始時、中間、事業終了前 (必要に応じて) にモデル調査事務局との打合せを設定してください。

※A4、一枚程度とする。